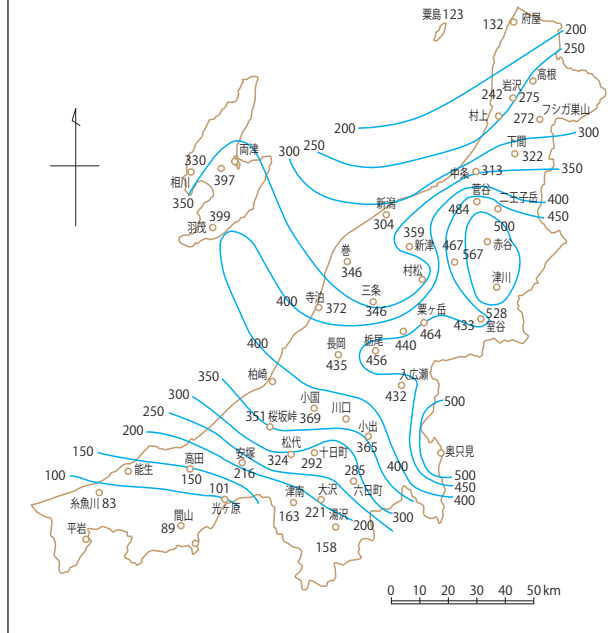


昭和53年6月26日に発生した能代川の水害について

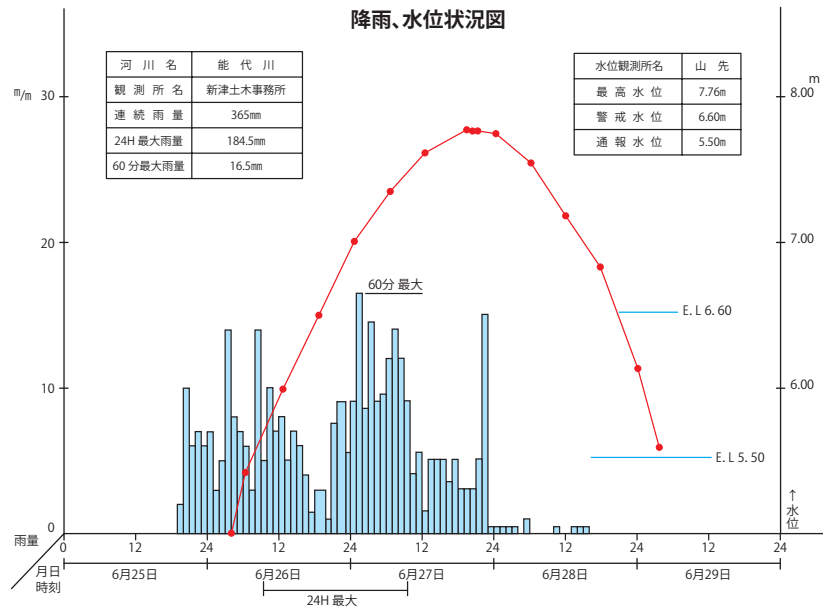
■雨量及び出水状況

新潟県上空に梅雨前線が停滞し、昭和53年6月25日から28日にかけての降雨は、6月の雨量としては珍しく記録的な大雨となりました。旧新津土木事務所（現在の新潟地域整備部）では、連続雨量365mm、日雨量184.5mmの大雨を観測し、能代川山先水位観測所では最高水位7.76mを記録しました。この水位は昭和42年8月28日に発生した水害（羽越水害）の水位6.95mを上回るものとなっています。

総降水量分布図 6月25日9時～28日9時（3日間）



降雨、水位状況図



■被害の状況

能代川の流域で下流域にあたる旧新津市街地（現在の新潟市秋葉区市街地）で多くの被害が確認され、浸水面積は1,259ha（東京ドーム約270個分の面積）以上となり、床上浸水が549戸、床下浸水が809戸、一般被害額は51億2,000万円に達する激甚な被害が発生しました。また、この水害では、ほぼ県下全域の中小河川が氾濫しており、県内112市町村のうち、被害の発生が93市町村、災害対策本部は84市町村で設置される大きな水害となっています。

■能代川浸水実績図

